

令和5年度 第6回 砂川市立小中学校統合準備委員会 次第

日 時 令和5年11月28日(火) 18:00～

場 所 砂川市役所 2階大会議室

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・ 5校交流会について

4. 協議事項

- ①義務教育学校の学校名について
- ②義務教育学校の校歌について
- ③義務教育学校の制服について
- ④スクールバスの運行について

5. その他

6. 閉 会

別添資料

- 別添1 義務教育学校の制服等に関するアンケート調査の結果について (抜粋)

5校交流会について

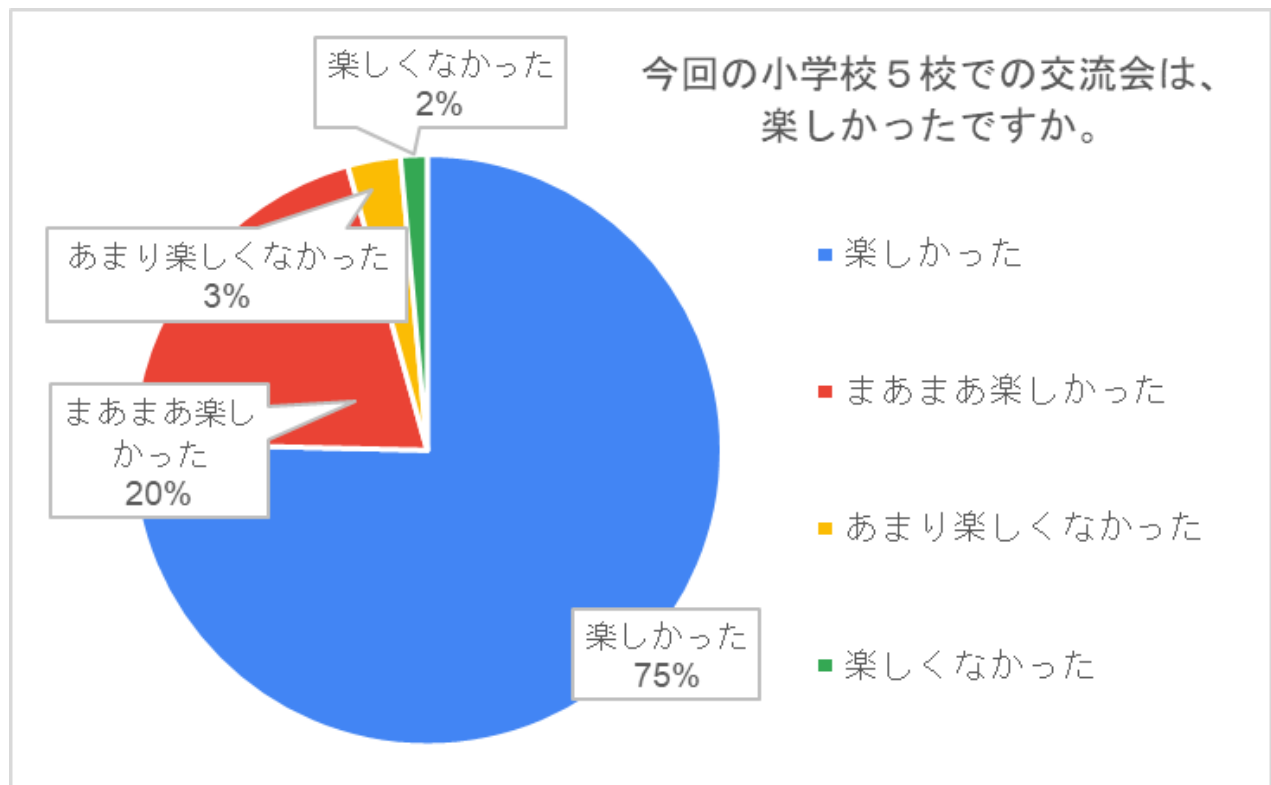
【日 時】 令和5年10月20日（金）

【場 所】 総合体育館

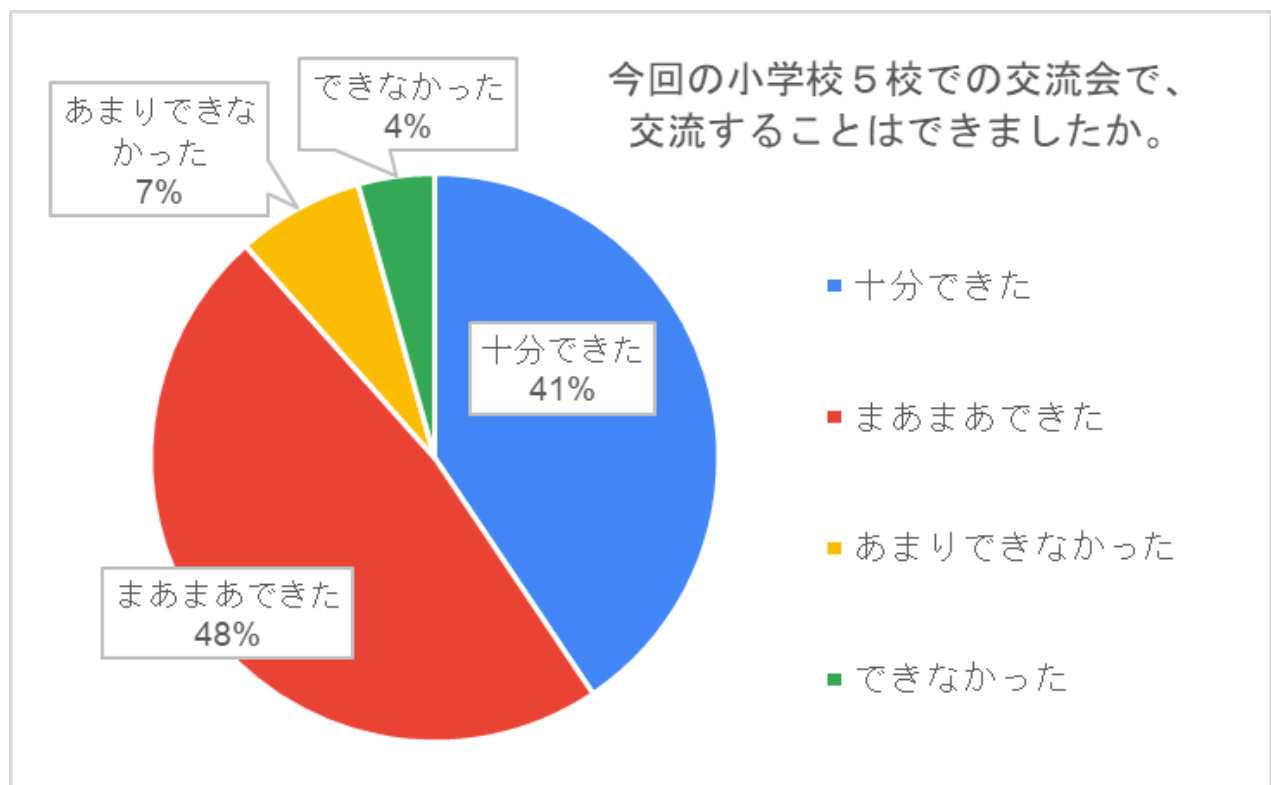
【参加者】	砂川小学校	6年生	21名	
	豊沼小学校	6年生	8名	
	中央小学校	6年生	22名	
	空知太小学校	6年生	17名	
	北光小学校	6年生	8名	合計 76名

10月20日実施 5校交流会児童アンケート集計結果【6年】

質問1



質問2



義務教育学校の学校名について

○校名候補の選定について

○児童生徒による校名候補3案の投票結果

・投票期間

令和5年11月13日（月）～11月22日（水）

・児童生徒数（令和5年10月末日現在） 863名

小学校：528名

砂川小学校：196名

豊沼小学校：70名

中央小学校：104名

空知太小学校：111名

北光小学校：47名

中学校：335名

砂川中学校：335名

・投票者数 751名

小学生：494名

中学生：257名

・投票率 87.02%

小学生：93.56%

中学生：76.72%

・投票結果	①砂川市立砂川学園	447票
	②砂川市立砂川小中学校	181票
	③砂川市立砂川義務教育学校	123票

義務教育学校の校歌について

○義務教育学校の校歌について（事務局案）

①校歌を新たに作るのか、現在の校歌を利用するのか

- ・新しい校歌とする
→ 学校名や校章なども新しくなることから、新しく制作する

②作詞・作曲はどうするのか

- ・専門家に依頼し、児童生徒が関われる方法について検討する
→ 可能であれば地元にはゆかりのある専門家に依頼
→ ワークショップ形式による校歌制作が望ましいが、制作者の都合もあることから、フレーズやキーワード、想いを集めるなど何かしら児童生徒が関われる方法を検討する

③いつ制作するのか

- ・義務教育学校開校前
→ 開校時に全校生徒が歌えることで、児童生徒の一体感が高まる

義務教育学校の制服について

令和8年度に義務教育学校が開校するにあたり、新たに指定制服・指定ジャージ・指定上靴（以下「制服等」という。）をどうするのか検討しなければなりません。制服等の導入時期については、令和8年度の開校に合わせて導入することが決定されておりますが、何年生から着用するのかやデザインはどうするのかなどの検討が必要となります。

○制服等の決定に係る検討事項

①何年生から制服等を着用するのか

- ・現行・・・中学1年生～中学3年生（小学生は指定なし）

②制服等業者はどうするのか

- ・現行（販売店：㈱トガワ商事）
制服・・・北海道トンボ（株）
ジャージ・・・北海道菅公学生服（株）
上靴・・・(株) ムーンスター

③制服等のデザインはどうするのか

- ・現行・・・ブレザー

※制服等業者選定方法・・・①企画書提出による書面審査

②企画書及びプレゼンテーションによる対面審査

③現行業者のまま など

※審査及びデザイン案検討・・・①統合準備委員会で審査、デザイン案検討

②統合準備委員会で審査、PTA組織によるデザイン案検討

③PTA組織による審査、デザイン案検討 など

※デザイン決定方法・・・①統合準備委員会や教育委員会等による検討により決定

②保護者や児童生徒の投票による決定 など

○制服等導入のスケジュール例（デザインを変更する場合）

- ・令和6年1月～3月・・・制服業者選定
4月～12月・・・デザイン案検討・選定
- ・令和7年1月～3月・・・デザイン決定
4月～6月・・・制服販売店決定
12月・・・制服合わせ、注文
- ・令和8年3月・・・納品

スクールバスの運行について

1 前回までの確認事項

項目	内容	確認
対象者	義務教育学校は、小学生及び中学生が乗車対象となるため、基準を再度検討	

2 本会議の協議事項

項目	内容	確認
対象者	義務教育学校は、小学生及び中学生が乗車対象となるため、基準を再度検討	継続協議

3 検討スケジュール

協議事項	協議時期	
	①対象者について	9月～11月
②利用料金、一般利用について	12月～3月	第6回委員会～
③停留所、運行経路について		
④運行回数等の運行内容について		
⑤その他について		

協議の経過

○ 第3回統合準備委員会

- ・ 乗車対象者の考え方について説明
- ・ 乗車対象者の基準3案を提示

【前期課程 4km・後期課程 6km】

【前期課程 2km・後期課程 3km】

【1st-2km・2nd-3km・3rd-4km】

⇒ 主なご意見

- ① 児童生徒の体力低下・時季ごとの運用
- ② 【1st-2km・2nd3rd-3km】の案
- ③ 概算費用について

○ 第4回統合準備委員会

- ・ 利用者の利便性等を鑑み年間一律した運用
- ・ 【1st-2km・2nd3rd-3km】の詳細を提示
- ・ 令和4年度の小中学校全国体力調査結果を提示
- ・ 歳出は、バスの購入費用及び運行委託料等を説明し、歳入は、へき地児童生徒援助費等補助金のスクールバス購入費について説明

⇒ 主なご意見

特になし

第3、4回の委員会を踏まえ、

①【おおむね 前期課程2km以上・後期課程3km以上】

②【おおむね 1st-2km以上・2nd3rd-3km以上】

の2案を最終案として、本委員会でご協議いただきたいと思います。

おおむね 前期課程2km以上・後期課程3km以上

○ 基準の考え方

へき地児童生徒援助費等補助金における豪雪地帯の補助対象基準に依拠

○ 乗車対象者推計

	前期課程 2km以上	後期課程 3km以上	合 計
R8年度 (実数)	246	83	329
R9年度 (実数)	242	81	323
R10年度 (実数)	236	78	314
R11年度 (実数)	229	88	317
R12年度 (推計)	307		307
R13年度 (推計)	294		294
R14年度 (推計)	283		283
R15年度 (推計)	268		268
R16年度 (推計)	262		262
R17年度 (推計)	265		265

○ 必要台数・乗車率等

- ・必要台数 10台、正座370席
- ・乗車対象者 329人(令和8年度)
- ・乗車率 89%

※現在運行している規格のバス(正座37席)で整理

○ 概算費用(あくまで参考値)

- ・初期費用
7台 × 約 25,000千円 = 約 175,000千円
- ・継続費用
10台 × 約 5,500千円 = 約 55,000千円(年)

おおむね 1st-2km以上・2nd3rd-3km以上

○ 基準の考え方

補助金の豪雪地帯の補助対象基準を踏まえつつ、児童生徒の体力面を考慮し設定

○ 乗車対象者推計

	1st 2km以上	2nd・3rd 3km以上	合 計
R08年度 (実数)	157	139	296
R09年度 (実数)	153	143	296
R10年度 (実数)	143	146	289
R11年度 (実数)	146	146	292
R12年度 (推計)	283		283
R13年度 (推計)	270		270
R14年度 (推計)	259		259
R15年度 (推計)	244		244
R16年度 (推計)	240		240
R17年度 (推計)	241		241

○ 必要台数・乗車率等

- ・必要台数 9台、正座333席
- ・乗車対象者 296人(令和8年度)
- ・乗車率 89%

※現在運行している規格のバス(正座37席)で整理

○ 概算費用(あくまで参考値)

- ・初期費用
6台 × 約 25,000千円 = 約 150,000千円
- ・継続費用
9台 × 約 5,500千円 = 約 49,500千円(年)